

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理基礎論Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	加藤 裕史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心理基礎論Ⅴでは、心理学検定において「心理学の原理・研究法・歴史」の分野に相当する学習内容を学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70％ 出席点20％ 提出物・受講態度点10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜プリント配布 参考図書:『心理学検定-基本キーワード改定版-』(日本心理学諸学会連合, 2015, 実務教育出版社) 第一章を中心に展開します。						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施する予定です。						
《履修に当たっての留意点》						
この科目は心理学検定のテキストで一番最初に登場する「原理・研究法・歴史」です、基礎分野の中で最も重要な内容ですので、理解できない内容は積極的に質問して身につけるようにしましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義オリエンテーションを通じて講義の全体像と到達目標について理解し説明できる。		PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	講義オリエンテーション 講義全体の流れについて理解を深めるとともに次回の課題受ける。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学の科学的方法論と寄与した人物と歴史的背景を理解し説明できる。		PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学の科学的方法論と寄与した人物と歴史			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。		PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ① 哲学・生理学との関連 ドイツ心理学の萌芽			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。		PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ② 哲学・生理学との関連 ドイツ心理学の萌芽			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。		PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ③ 哲学・生理学との関連 ドイツ心理学の萌芽			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ④ ドイツ心理学の展開、アメリカ心理学の展開		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ⑤ ドイツ心理学の展開、アメリカ心理学の展開		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ⑥ 社会心理学・発達心理学・認知心理学・その他		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学史上の出来事と流れを理解し、関連を論じる事ができる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学史 ⑦ 社会心理学・発達心理学・認知心理学・その他		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ここまでの範囲で過去問題に取り組む	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	まとめと中間確認		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究法の考え方を理解し、解説する事ができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	研究法の概念① 心理学の研究法と変数、質的研究と量的研究		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	信頼性と妥当性の概念について解説することができるようになる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	研究法の概念② 信頼性と妥当性 研究法の概念		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	検定法・実験法の概念を説明することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	研究法の概念③ 仮説検定法・実験法・調査法・観察法・検査法・面接法 等		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ここまでの範囲で過去問題に取り組むことができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	まとめと中間確認		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識のアウトプットができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	まとめと最終確認		